

# 心に響くサウンド

## 市岡中・吹奏楽部が演奏会



「心に響く市岡サウンド」楽部。その定期演奏会が三月二十九日、府立青少年会館で開かれました。地域へ映画音楽などポピュラーな感謝を込めて一年間の成果を披露する恒例行事で、十一回目。同部保護者会・後援会が後援。

演奏は、フラメンコ風の旋律が力強い「エル・カミノー・レアル」(リード)で幕を開け、壮大なクライマックスが感動的な「スラブ行進曲」(チャイコフスキー)、色彩の変化を自在に表現した「カラズ」(アツベルモント)と本格的な吹奏楽曲が続きました。

「カラズ」では楽団奏者で同部トロンボーン部門指導者でもある竹本裕一さんが、生徒演奏をバックにブクの音を響かせました。中盤では打楽器、金管楽器

い、あれだけの迫力が出せることに感心しました。部長挨拶やアンコール演奏に三年間の思い出や感謝の気持ちで詰まっているのが感じられ、胸が一杯になりました」と話していました。

同部は平成十五年から三年連続全国大会出場、十九年からは下田泰顧問の指揮に感謝を述べ、アンコール曲「学園天国」で高揚のうちに幕を閉じました。

少人数を練習で補い保護者の女性は「三十人教え合う質の高い練習で演奏水準を維持しています。

# 女性記者と民衆描く

## 『上海1930』公演迫る

革命の時代を生きた女性 港区で上演されます。

ジャーナリスト、アグネス・スメドレーと中国民衆の交流を描いたミュージカル『上海1930』が五月に

肉筆美人画の名手であった六十歳代は春画の分野を開拓した時代。

勝川春章に十九歳で入門。翌年には春朗の雅号で浮世絵界デビュー。以後七十年に及ぶ画業の間に挑戦した分野は、次に記す十年周期に区切ることができます。

二十歳代は勝川派で浮世

女は振り返る。自分がこの国に残したものは一体何だったのだろうか。

壮大なスケールでスモドレーは革命期の中国に深く関わった実在の記者、日中戦争の前線取材した『中国は抵抗する』など多くの著作を残しています。その人生に共感した綾羽さんが、今の時代が失った理想への熱と行動を彼女に託し、史実に虚構を織り交ぜ、壮大なスケールで描きました。尾崎秀実の実弟・故尾崎秀樹さんが脚本を監修。舞台では「約束」「花火」など美しい劇中歌がドラマ性を高めます。

①五月九日(土) 十七時  
②十日(日) 十一時③同十時  
五時の三回。会場は世界館(波除六―五―一五)。前売三千八百円。問合せは石川倉庫(波除六―五―一八) 〇六五八―〇六六四へ。



自由主義新聞の記者スモドレーは中国に降り立ち、虐げられた人々の真実を世界へ発信、各地を啓蒙して回る。共鳴する民衆。革命軍リーダーや日本人記者尾崎秀実、スパイ・ゾルゲとの出会い。そして彼らの死。自身にも迫る危機の中で彼

# 橋田青矢の

## ワンポイント 講座 浮世絵

⑥

日本美術界傑出の巨匠であり、世界で最も有名な芸術家の一人である葛飾北斎は、江戸の居所(現墨田区亀沢町)で生まれ、本連載でも触れましたが、役者絵の大家であり

りの変り者だったようでも、日常生活には無頓着で、日常には無頓着におまけに雅号の改名が三十三度、転居に至っては九十歳で没するまでに何と九十回も繰り返しました。

生涯に三万点を越す作品を生み出した北斎、その画業をこの紙上で語り尽くすのは不可能です。とはいえ、その代表作『富嶽三十六景』に絞ってお話しましょう。

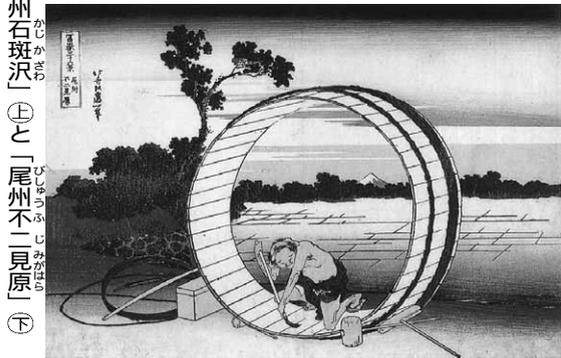
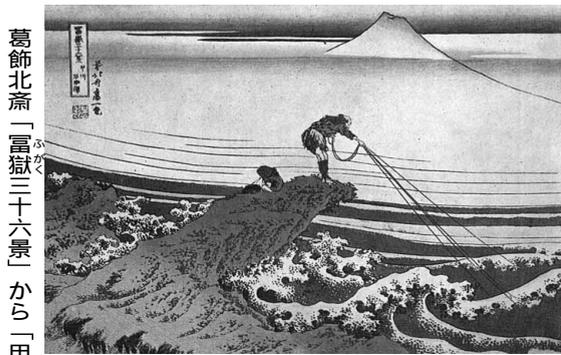
# 傑出の変人画家・北斎

## 花鳥風月から春画まで

## 10年周期で分野変える

絵を修業した時代。三十歳代は写楽の雅号で役者絵を描いた時代(北斎II写楽説には異説も)。四十歳代は小説の挿絵を多く描いた時代。五十歳代は「北斎漫画」の分野を開拓した時代。

こうした各時代を通じて北斎は江戸画壇の一匹狼として、花鳥風月から役者、武者、美人、果ては男女の情交まで、ありとあらゆる素材を多様な画法で描き続け、その技量を磨きました。日十三〜二十一時)。



葛飾北斎「富嶽三十六景」から「甲州石斑沢」(上)と「尾州不二見原」(下)

# ライブ情報

市岡在住のシャンソン歌手・松浦由美子さん 三月(北区池田町四三三二)に「うたと朗読による『茶色の朝』を上演、好評。F・パブロフの原作をもとに松浦さんの歌や朗読、ピアノ・チェロ演奏等で構成。茶色以外が許されない統制社会を描き、戦争へ向かう現代社会を風刺。後半は「さとうきび畑」等を熱唱。平和への思いで会場を満たした。

松浦さんは喫茶ガットネロ(天王寺区六六七七一)〇(二)を拠点に活動。

ピアノ時々アコーディオン弾き語り▽四月二十日(月) 神戸新聞地「一番星食堂」出演▽四月二十七日(月) 十九時から桜ノ宮カラカラ出演▽五月十日(日) 十二時からザ・セラードで開催のライブ(前出) 出演。HPは「フクネコ」で検索可。

八幡屋在住のシンガーソングライター山口ももえさんしつとりとした感じの歌をギターで弾き語り▽四月二十一日(火)夜に十三時八ノノ(淀川区十三本町)ライブ(前出) 出演。HPは「フクネコ」で検索可。

八幡屋在住のシンガーソングライター山口ももえさんしつとりとした感じの歌をギターで弾き語り▽四月二十一日(火)夜に十三時八ノノ(淀川区十三本町)ライブ(前出) 出演。HPは「フクネコ」で検索可。



松浦由美子さん



次号でも北斎を取り上げ、その代表作『富嶽三十六景』に絞ってお話しましょう。

橋田青矢(75) 港晴在住の染色工芸作家、兵庫大短期大学部名誉教授。(社)武者、美人、果ては男女の情交まで、ありとあらゆる素材を多様な画法で描き続けた。その技量を磨きました。日十三〜二十一時)。

毎週金曜の夜は♪  
プロミュージシャンによる **Duoライブ** PM9:00~11:00  
チャージ¥1,500(飲食代金別途)  
土曜日の夜はカラオケ営業!

始めました! **昼カラオケ** PM1:00~6:00  
歌い放題 ¥1,000  
最新プレミアムDAM  
1ドリンク&スナック付

-ライブ&カクテル-  
**Piano Bar Kiyomi**

LIVEスケジュールはホームページで!(携帯からも可)  
http://hw001.gate01.com/pianobar-kiyomi/  
ご予約は TEL4395-1200 港区八幡屋1-3-17  
レインホール八幡屋ビル1F  
営業時間 20:00~深夜2:00 ◆不定休

子や孫に自分の人生を残そう!

お話をききとり、文章にしてお渡します。

**飯田編集事務所**  
田中3-3-3 ☎6571-4636

シャソソ **ガットネロ** 喫茶

港区市岡在住のシャンソン歌手・松浦由美子さんの「シャンソン百物語」など楽しい企画を用意してお待ちしています

天王寺区上本町6-2-37-2F ☎6767-0012  
http://www.010.upp.so-net.ne.jp/gatto-nero/

午後のカラオケ  
お昼12~17時<要予約>2,000円  
ビール1本+食事付き<10名様以上>

**カラオケはづき**  
☎6573-0012 弁天3丁目23-25  
PM7~12時、月曜定休

あいつがほしい! **歌声喫茶** よみがえる青春! アコーディオン伴奏

昭和30年代に大流行した「歌声喫茶」が港区に復活!! 童謡唱歌から世界の民謡、青春歌謡までアコーディオンの生伴奏に合わせて皆で歌えば心は青春時代。さあ、あなたも一緒にどうぞ!!

毎月第2・第4月曜 14~16時 料金1,500円  
飲み物・菓子付

**カラオケ喫茶 歌**

歌(※予約)  
至大塚駅前 中央体育館 至朝潮橋駅前  
喫茶店 ● コンビニ ●  
みなと通り(地下鉄中央線) ●  
不動産屋 ● 米屋 ●

港区港晴3-4-5(中央体育館西)  
◎正午~夕方5時、夜7時~11時  
◎毎週日曜 ☎6576-7055